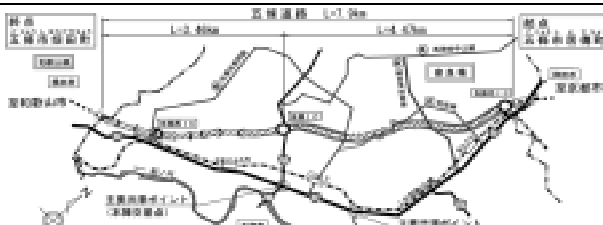


## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b> ： 一般国道24号 <small>ごじょう</small> 五條道路	<b>事業区分</b> ： 一般国道	<b>事業主体</b> ： 国土交通省 近畿地方整備局
<b>起終点</b> ： 自：奈良県五條市居傳町 至：奈良県五條市畑田町	<b>延長</b> ： 7.9 km	
<b>事業概要</b> ： 国道24号は、京都市を起点とし、奈良市を經由して和歌山市に至る延長約160kmの主要幹線道路である。五條道路は京奈和自動車道の一部を構成し、広域的な都市圏の活性化、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圏・活動圏の拡大による地域の活性化を図ることを目的とした高規格幹線道路である。		
S48年度事業化	S61年度都市計画決定 (H2年度変更)	S63年度用地着手
H2年度工事着手		
全体事業費	約770億円	事業進捗率
		59%
		供用済延長
		- km
計画交通量		
27,700台/日		
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 4.4  (残事業) 16.1	総費用： (残事業)/(事業全体) 233/854億円  (事業費：203/824億円) (維持管理費：30/30億円)
		総便益： (残事業)/(事業全体) 3,740/3,740億円  (走行時間短縮便益：3,450/3,450億円) (走行費用減少便益：227/227億円) (交通事故減少便益：60/60億円)
		基準年： 平成16年
<b>感度分析の結果</b> ： 残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.7(交通量+10%) B/C=3.9(交通量--10%) 事業費変動：B/C=4.0(事業費+10%) B/C=4.9(事業費--10%)		
<b>事業の効果等</b> ： ・円滑なモビリティの確保（並行区間等における年間渋滞損失時間及び旅行速度の改善が期待される） ・安全で安心できるくらしの確保（橿原市にある直近の三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ： 五條道路は、京都・奈良・和歌山間の広域連携強化、交通混雑の緩和、地域の活性化等に重要な役割を果たすことが期待されており、五條市をはじめとする京奈和自動車道整備促進期成同盟会等により、早期完成の要望を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ： 五條市の東西方向の主要幹線道路は国道24号のみであり、自動車保有台数の増加及び工業団地のテクノパークならの開発等によって、渋滞が益々深刻化している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ： 一部において用地の任意買収の困難な案件があり、土地収用法に基づく手続きを進めているものの、現在までに用地買収は91%完了し、また平成2年度より工事を推進しているところである。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ： 土地収用法に基づく用地取得を行い、平成17年度に全線暫定供用予定である。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ： 施工にあたっては、植物誘導吹付工の採用や建設発生土を五條市開発事業に有効利用する等コスト縮減に努めている。		
<b>対応方針</b> ： 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> ： 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b> ： 		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。